	<p>発行者 山梨県公立小中学校教頭会 山梨県公立小中学校教頭組合 事務局 甲府市丸の内三丁目33-7 山梨県教育会館内 TEL 055-226-0980 FAX 055-227-9661 E-mail kyotokai@estate.ocn.ne.jp</p>
--	---

「予測困難な時代の中で」

山梨県公立小中学校教頭会 会長 山本 撰

はじめに、令和4年5月11日の第56回山梨県公立小中学校教頭会総会・教頭組合定期大会の開催に当たり、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様をはじめ、ご出席いただいた各地区の教頭先生方、また、コロナ禍の大会運営にご尽力いただいた全ての関係者の皆様に、衷心より御礼を申し上げます。総・大会で確認された今年度の活動方針並びにスローガンを受け、その実現に向けた研究推進委員会・各専門委員会等の活動も本格的に始動したところです。私も会長として、教頭会の諸先輩方の築きあげた成果を継承するとともに、より一層充実した活動が推進されるよう責務を果たして参る所存です。引き続き、会員の皆様のご協力をよろしく申し上げます。

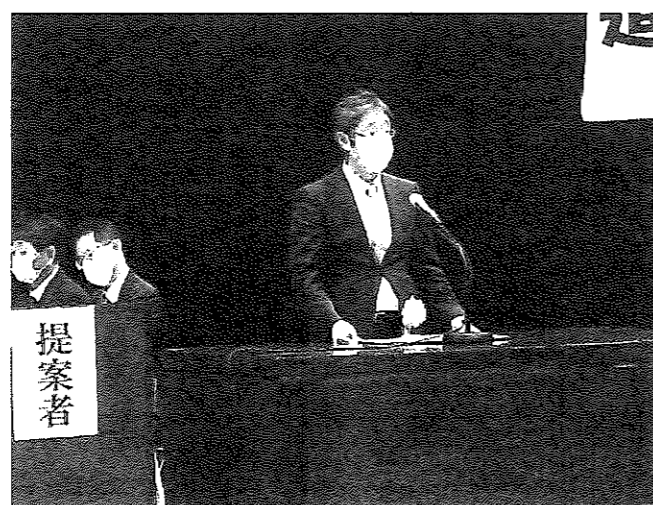
さて、我が国が新型コロナウイルス感染症の危機にさらされてから3度目の春を迎えたものの、収束への方向性が明確に見えないまま季節が移ろっていきます。一方、世界に目を向けると、今年2月のロシアによる軍事侵攻を契機として、諸国の平和的安定は激しく変動し、多くの国々で不安と緊張が高まるとともに、一般市民の生活にも暗い影を落としています。いずれの問題も、その発生を誰が予想していたでしょう。まさに予測困難な時代のまっただ中に、我々は教頭として立っています。そして、目の前の子供たちは、先行きの不透明な時代の担い手となる世代です。

これからを生きる子供たちの10年先を見越

して必要となる資質能力を見極め、その育成に向け、強靱で柔軟な学校組織を構築するためには、「学校運営の要」である私たち教頭がその職責を全うすることが不可欠な要素です。

そこで、多くの学校において一人職である教頭が相互に連帯し、孤立することなく職務を遂行できるよう、声を掛け合い、知恵を出し合い、「チーム教頭会」として活動に取り組んでいきましょう。

多忙な日々の中にも、目の前の子供たちや職場の教職員の幸福な人生を思い描き、総・大会で共有された課題の解決とスローガンの実現に向けて各自の力を発揮していきましょう。執行部としても、山梨県公立小中学校教頭267名の力を結集して組織の連帯強化に取り組むとともに、関係諸団体との連携を図りつつ今年度の活動を推進することをお約束します。



「シン・キョウトウカイ」

山梨県公立小中学校教頭会 副会長 内藤 大輔

庵野秀明さんが企画・脚本を手掛ける「シン・ウルトラマン」が大ヒットしています。子供の頃、リアルタイムでウルトラマンを見た世代にとっては、カラータイマーがついていない等、疑問に思うところもありますが、懐かしさの中に新しさを感じます。庵野さんは「シン・ウルトラマン」を始め「シン・ゴジラ」「シン・エヴァンゲリオン劇場版」等、以前の作品をリスペクトし、その上で設定を新しく捉え直し、現在にも通じる作品へと創り変えています。

新型コロナウイルス感染症の収束がみえず、またウクライナとロシアの問題をはじめ、世界情勢も不穏です。日本でも、物価上昇がじわじわ始まり、何かすっきりしない毎日です。先行き不透明な時代だからこそ、子供たちにはあらためて「未来を生きる力」が必要だと感じます。今年度の研究主題は「未来を生きる力をはぐくむ 魅力ある学校づくり」であります。3年計画の3年目、まとめの年にあたります。昨年、一昨年とコロナ禍で研究会も分割型開催や支部開催等を余儀なくされ、計画通りに進まなかったとの反省も聞いています。この多難な状況の中、私たち教頭は、もう一度足元を見つめなおし、また積み上げられてきた研究の成果に立ち返る必要があるのではないのでしょうか。「魅力ある学校」をめざして、職場をまとめ、個々の教職員の力を引き出し結集させること、子供たちに「未来を生きる力」をはぐくむために、常に自分を磨き、鍛えていくことが必要であると感じます。

先輩方の苦勞と努力によって、積み重ねられた伝統ある県教頭会の研究をリスペクトし、現在抱える「コロナ禍」「働き方改革」「教育改革」等、多くの課題を克服するため、私たち教頭も、新しい見方・考え方を総動員し「シン・キョウトウカイ」を目指していきたいです。

研究の更なる充実・発展が図られますよう、皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

変化の激しい今、チームとして…

山梨県公立小中学校教頭会 幹事長 小林 康人

少子高齢化、地球温暖化、気候変動、グローバル化の進展や技術革新による社会構造の変化等複雑な社会的課題への対応のための取組がすすんでいます。学校現場においては、新型コロナウイルス感染症に関わる先行き不透明で予測困難な状況の中、多岐にわたる課題への対応が求められています。また貧困や虐待、いじめ、不登校、ヤングケアラー等教育諸課題は年々増加の傾向にあります。そして私たち自身の働き方、心身の健康の課題や教職員不足等課題は山積しています。

このような状況下、自助努力での解決は限界を超えています。個々の力量を日々高めていくことは私たちの責務ですが、今後さらにチームとして課題解決にあたっていかなければならない場面が多くなることが予想できます。そしてそれは、今日的な課題解決のため、組織としての機能を高めていく必要性が求められます。

本会の目的として、会則第4条に「この会は教育諸問題の研究並びに教職員の待遇の改善及び社会的地位の向上を図ることによって、本県の教育振興に寄与することを目的とする」とあります。このことを教頭として自覚し、教育に携わるものとして自らの資質向上とリーダーシップを発揮し、学校運営をしていく必要があります。

子供たちの確かな学力、感性豊かな心、健やかな身体の育成のための学びの機会を保障し、夢と希望が持てる学校づくりを目指していきましょう。

県下の教頭267名がチーム教頭会として、教育諸条件の整備・改善、そして研究活動に取り組み、これまで先輩方が築いてこられた山梨県小中学校教頭会を継続・発展できるよう幹事長として努めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

職務遂行のために

法制研究委員長 中村 亮二

法制研究委員会では、研究の基本方針として「継続する諸課題をふまえて、教頭の職務や身分にかかわる法制研究を行うこと」「法的根拠を明確にしながら、教頭に期待される職責の遂行を究明し、諸要求実現のための要請活動に結びつけること」「学校運営に役立つ法制研究を行い、その成果を交流し共通理解を得る中で、資質の向上をはかること」を掲げています。また、新たな制度や施策・諸課題等についても検討し、提案していけるよう活動しています。

本年度は、例年5月頃行われていたアンケートを新教頭が職務内容を理解し課題等がみえてからアンケートを実施したいという考えから、2学期以降に行うこととしました。また、本年度については昨年度のアンケートを基にし、喫緊の課題について調査検討を加え、その結果を県の法制研修会へつなげていきたいと考えています。

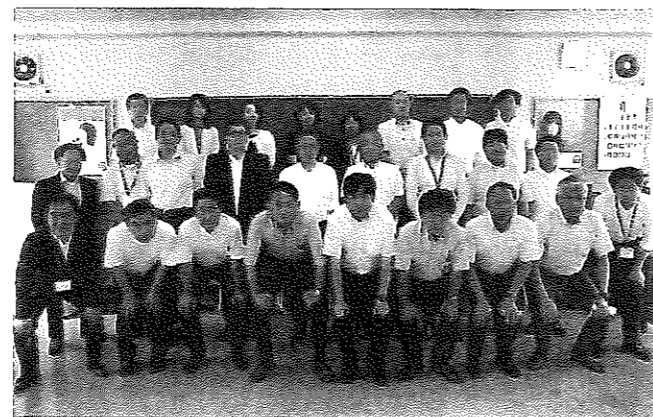
私たちの職務をしっかりと見つめ、業務の効率化を図るとともに、教頭としての資質向上につなげていけるようにと考えています。ぜひご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

東山梨支部教頭会の活動

東山梨支部 会長 廣瀬 敦子

東山梨支部は、新たに8名の仲間を迎え、山梨市・甲州市の21小学校、7中学校の教頭28名で構成されています。

本支部では、年間8回の定例会を行います。まず全体会では、教育関係者や先輩管理職を招いての学習会や、学校運営に関するテーマを設定し、小グループに分かれての話し合いを行います。全体会終了後には、各市に分かれての課題別研究や職務上の課題に関する情報交換を行います。これが、自校の学校運営に役立つ貴重な情報交換の場になっています。



コロナ禍における教育活動

調査活動委員長 清水 一美

新型コロナウイルス感染症の感染収束が見えない中、教育活動のあり方についても不安が増し、さらなる工夫が求められている昨今です。

「行事の精選」「学びの形態の工夫」「ICT活用の推進」等が改めて検討されており、新しい教育活動が模索されています。安易にコロナ禍以前に戻すのではなく、学校運営そのものに改善と進化が求められているのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、様々な判断が要求される学校現場において、本調査活動によって得られたデータが大きな役割を果たすと思われます。「生活の向上と権利の拡大を図る」「教育条件を改善し、民主主義を推進する」「教育環境の改善と充実を目指す」といった調査活動の意義を改めて考え、改善のための検証を今後も行っていくことが、真の教育活動の実現につながると確信しています。今後も調査活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

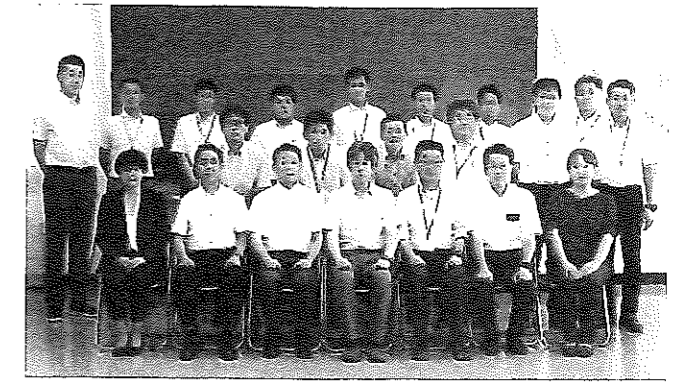
今後も未来の東山梨地区を担う子供たちのために、同じ悩みを共有する仲間として、お互いに連携を図り、切磋琢磨しながら自らの資質向上をめざす活動をしていきたいと思っています。

笛吹支部教頭会の活動

笛吹支部 会長 樋口 友喜

笛吹支部は、市内14小学校・5中学校の計19校、会員数22名で構成されています。今年度は、新たに6名の新会員を迎え、4月より活動がスタートしました。本支部の活動は、定例の学校運営研究会議全体会議の中で、協議事項の検討や情報交換を行い、全体研究会（実践交流学習会）で実践レポート研究の発表を行います。その後、2部会に分かれての課題別研究に取り組み、研究を深めています。また、教育関係者や先輩管理職を招いての学習会、夏季には法制研レポートを基にした法制研修会を行い、

教育事務所長・管理主事を招聘して指導を仰ぎ教頭としての資質向上に努めています。会員相互の親睦を深め、笛吹教育の中核となるよう活動していきたいと思っています。



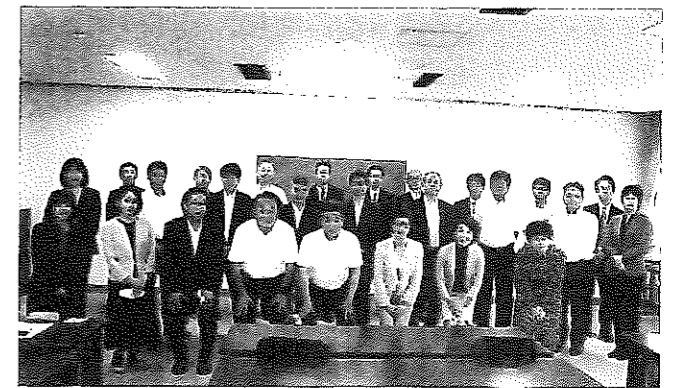
峡南支部教頭会の活動

峡南支部 会長 澤谷 情

峡南支部は、5町からなる、南北に50km以上の広域に渡る地域です。小学校17校、中学校9校で計26校、会員数は27名で活動しています。

本支部では、今年度も年間6回の定例会を行います。各定例会では、前半に各専門部を含む全体的な取組に対する検討や内容の確認を行います。また、現場での困り感があるときには、情報共有したり、各校での対策を参考にしたりもしています。後半は3つのブロックに分かれての課題別研究を行います。支部法制研につい

ては、第5回の研究会にて講師を招聘し、講演会と法制学習会を行う予定です。今年度も、峡南教育の充実と発展のために、皆で知恵を出し合い、有意義な活動を行っていききたいと思っています。



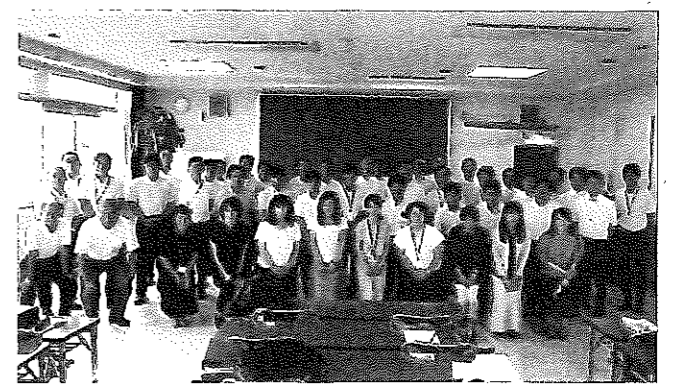
中巨摩支部教頭会の活動

中巨摩支部 会長 矢吹 和信

中巨摩支部は、県下最大規模の支部で、南アルプス市、甲斐市、中央市、昭和町の小中学校50校、計54名の教頭で構成されています。今年度は16名の新会員を迎え、活動がスタートしました。

月例の学校運営研究会を活動の中心とし、課題別研究会、情報交換等を行っています。夏季には、管理主事を招聘しての研修会、臨地研修を行いながら見識を深めています。また、法制研修会等を実施し、喫緊の課題解決に向けた研究とともに一人ひとりの資質の向上に努めてい

ます。更なる中巨摩教育の発展のため、子供たちにとって安心安全な学校を目指し、研鑽し合えるよう活動を行っていききたいと思っています。

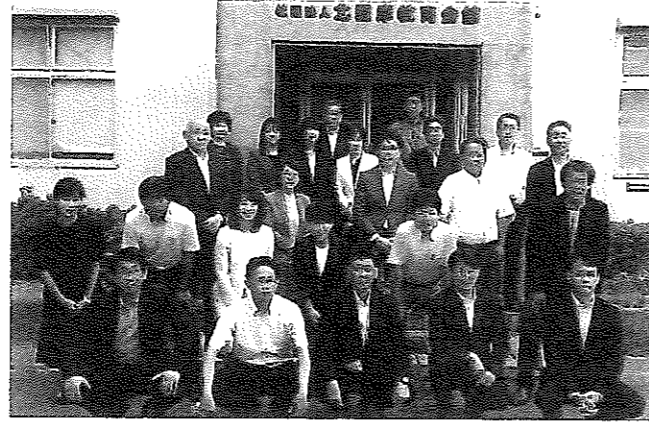


北巨摩支部教頭会の活動

北巨摩支部 会長 有泉 透

北巨摩支部の教頭会は韮崎市7校(小5・中2)、北杜市18校(小9・中9)、計25校の教頭26名で構成されています。今年度は新会員10名を迎えてスタートしました。本会では、定例会を毎月1回実施し、連絡報告、情報交換を行っています。課題別研究では、第7課題「学校運営に関すること」として、今年度の関プロ神奈川大会において発表する予定です。課題別研究も3年目を迎え、実効性のある研究を行うべく熱心に研究を行っています。まだまだコロナ禍による学校対応の忙しさからは逃れられま

せんが、会員相互の親睦、そして絆を深めながら、教頭としての資質・能力の向上を図れるように日々研鑽を重ねていきたいと思ひます。

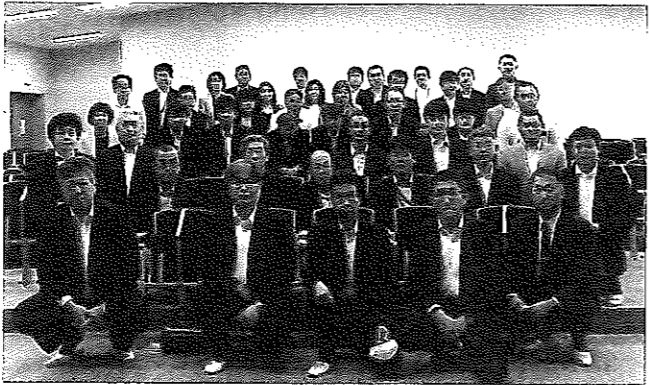


南都留支部教頭会の活動

南都留支部 会長 渡邊 義之

南都留支部教頭会は、富士吉田市・都留市・西桂町・道志村・忍野村・富士河口湖町・鳴沢村・湖南中組合の小学校29校、中学校14校、計43校49名の教頭で構成されています。今年度は、24名の新会員を迎えスタートしました。定例会を9回実施し、連絡や報告・情報交換を行っています。課題別研究会では、郡・市の3ブロックに分かれて研究を進めています。今年度は、12期の3年次ということもあり、いかに研究のまとめを進めるかが焦点になっています。

今後も更なる南都留教育の発展のため、教頭としての資質向上のため、そして、子供たちの安心・安全な学校をめざし、一同研鑽を積んでいきたいと思ひます。

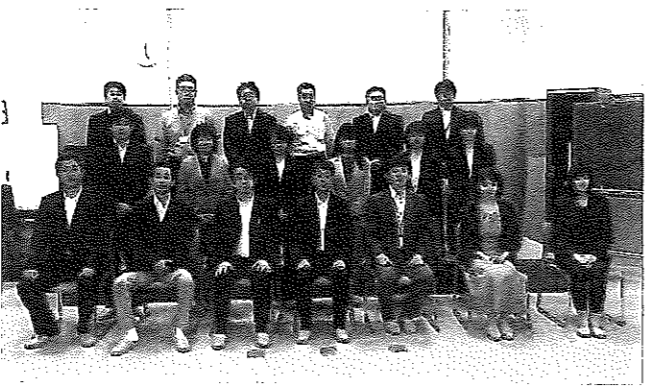


北都留支部教頭会の活動

北都留支部 会長 森 卓弥

北都留支部教頭会は、大月市、上野原市、小菅村、丹波山村の小中学校18校、19名で構成されています。今年度は新たに9名の新会員を迎えて活動をスタートさせました。本支部では、年5回の全体研究会と3つのブロックに分かれての支会別研究会を9~10回実施し、実践研究の報告、連絡、情報交換を行っています。全体研究会では、教育事務所長からご指導をいただく法制研修会、2村の教育長の企画による学習会等を行い研鑽を深めていきます。3年目を迎える課題別研究会では、研究

成果を活かせるよう、まとめていきます。北都留の子供たち、そして地域の教育力向上のために教頭としての資質・能力を高めていけるよう活動していきたいと思ひます。

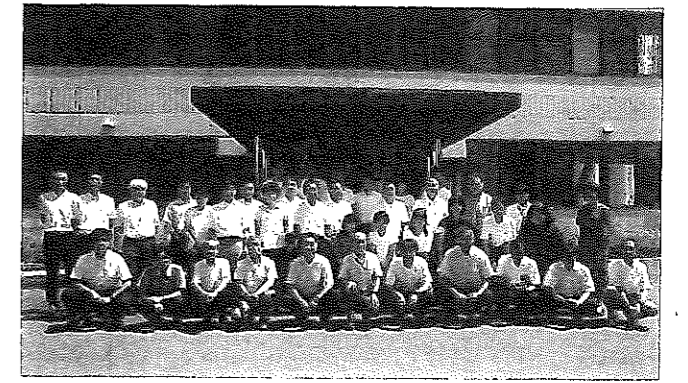


甲府支部教頭会の活動

甲府支部 会長 青嶋 和幸

甲府支部教頭会は、小学校25校、中学校11校、計36校の教頭42名で構成されています。今年度は新たに10名の新会員を迎え、活動がスタートしました。本支部では、年9回の定例会を実施し、連絡報告や情報交換を行っています。まとめの3年目を迎えた課題別研究では、3部会に分かれ、昨年度までの成果と課題を受け、各部長を中心に意欲的に研究に取り組んでいます。コロナ禍も3年目となり、まだまだ先が見通せない日々が続いていますが、今何ができるのか、

これからはどのように取り組んでいけばいいのかという視点を大切にしていながら、教頭会が一致団結し、甲府市の教育の更なる充実を目指し、研鑽を重ねていきたいと思ひます。



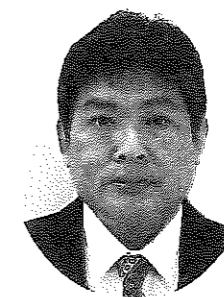
本部役員紹介



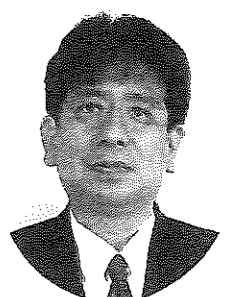
会長 山本 撰



副会長 田中 一弘



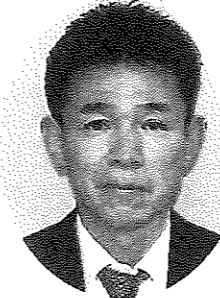
副会長 諏訪 啓太



副会長 内藤 大輔



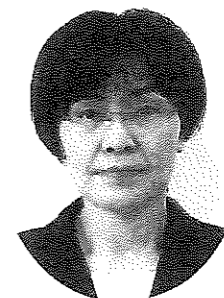
幹事長 小林 康人



副幹事長 中村 弘和



副幹事長 大久保 紫



会計委員 深澤 純子



事務局長 小林 千澄

第56回山梨県公立小中学校教頭会総会・教頭組合定期大会を、コロナ禍により3割参加という制限のある中でしたが、5月11日に無事開催することができました。依然として活動に制限があり、先行きは不透明ですが、役員一同、県の教頭会・教頭組合の発展のため知恵を出し合い、会員相互の連携をさらに充実させていきたいと思ひます。今年度も会員の皆様、諸先輩方、関係各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新会員のことは

「新たな風」に

甲州市立奥野田小学校 中村弘和

行政職を2年間経験し、教頭として3年ぶりに戻った学校現場。初めは隔世の感がありました。「主体的・対話的で深い学び」への転換。ICTを活用し多様な学びを保障する「GIGAスクール構想」。校務を効率化・高度化する「校務支援システム」。子供と向き合う時間を確保し、教員の多忙化改善を目指す「働き方改革」。そして、新型コロナウイルス感染拡大による学校生活への多大な影響…。周囲に教えを請いながら業務に必要なスキルを習得し、何とか乗り切った2か月間でした。

本校職員と接していつも感心させられることは、職場で自然なOJTが機能しており、同僚を尊重し、協働しながら様々な変化に対応しようとしているところです。先人たちが築いてきた、風通しがよく「まじめな雑談」ができる職場において、教頭としてこれまでの経験を生かし、様々な輪の中に入り、学校にとって「新たな風」を吹かすことができるよう努めていきたいです。

教頭としての雑感

北杜市立高根西小学校 鈴木大

教頭として、新任校に赴任して、2か月が過ぎようとしています。3月の末、前任の教頭より膨大な引継ぎを受け、その殆どを消化できぬまま、新年度がスタートしました。行く先が見えず、何が不安かも分からず、目の前の仕事に追われ、ただひたすらにそれに対峙し、こなしていく2か月間でした。

節目の大きな行事がひと段落し、最近、ようやく周囲が見えてきたような気もしていますが、教頭らしいことは何もできず、校長先生や教務主任をはじめ、職員には、迷惑のかけ通しの日々だと反省しきりです。

今後は、職員の多忙感を少しでも解消し、モチベーションが上がる働きやすい職場作りに、微力ながら尽力していきたいと思ひます。

Re スタート

早川町立早川南小学校 笠井さゆり

教頭として赴任したのは、教員生活をスタートさせた早川南小学校でした。校長先生をはじめ、先生方や子供たち、保護者や地域の方々から多くのことを教わり、教員として育てていただいたこの地で、今度は教頭として、再び、育てていただいています。

迷惑をかけ、助けられてばかりの2か月。校長先生や先生方、それぞれの立場の職員の支えで学校が成り立っていることを改めて感じています。先生方や子供たちが力を発揮できるよう、支えていけるようになりたいと思ひながら、まだまだ助けられてばかりです。

今は、車の燃費が少しずつ良くなっていくのが日々のささやかな楽しみですが、1年後には、教頭の業務に楽しみを見出せるよう、日々、積み重ねていきたいです。

新たなスタート

都留市立禾生第一小学校 長田道也

教頭として赴任し、2か月が過ぎました。ここまでは、目の前の仕事をこなすことだけで精一杯だったと感じています。少しずつですが職務にも慣れ、最近では先生方と多くの会話をすることが出来るようになりました。当たり前ですが、先生方と会話をする事で、学校や子供たちの状況が分かってきました。

コロナ禍での、学校運営は手探りのことが多いですが、with コロナの状況下でも魅力ある学校を目指すことが大切であると考えます。これからは子供たちが笑顔で過ごすことができるように、保護者・地域・そして教職員が一丸となり、職責を果たせるよう頑張っていきたいです。

「アップデート」

情宣活動委員長 清水誠治

私が教員に採用されたのは、平成元年、初任者研修初年度でした。ベルリンの壁が崩壊し、日経平均が史上最高値を更新した年でした。携帯電話はまだ存在せず、カーナビもありませんでした。仕事に関して言えば、通信票も指導要録も手書きでした。学年通信を「ワープロ」で作成する先生が、ちらほら出てきた頃です。

あれから30有余年が経ち、教育を取り巻く環境は一変しました。その変化の速さに驚くばかりです。そんな中、「自分はどうか。」と振り返ることがあります。体型は変化しましたが、「中身」は……。

時代とともに教育が変化するように、自分自身も「アップデート」しなければならないと感じます。教頭として諸課題に柔軟に対応するために、日々更新していこうと思ひます。

本誌も142号の発行を迎えました。その存在意義や中身をアップデートしながら今後に繋いでいきたいと感じております。

令和4年度情宣活動委員会名簿

Table with 4 columns: 委員長, 副委員長, 委員, 本部, 事務局. Lists members of the Information and Publicity Committee for the 2022-2023 fiscal year.

編集後記

先日学校で、「命のうた～僕は路上で生きた十歳の戦争孤児～」という本を、教頭のおすすめとして紹介しました。ウクライナへのロシア侵攻のニュースを見る度に心が痛みます。日本にも戦争があったことを忘れかけている中、「子供たちを再び戦場に送るな」という言葉の意味を真剣に考えるべき時期にきたのかもしれない。命の大切さを子供たちにどう伝えていくか、教育者の大切な仕事であると感じる今日この頃です。

今号の発行にあたり、短時間にもかかわらずご執筆いただきました方々に深く感謝申し上げます。教頭会会員の皆様方のご健康と益々のご活躍をご祈念するとともに、今後も「山梨教頭」へのご協力をお願いいたします。

(都留市立宝小学校 中澤 康夫)

令和4年度 教頭会行事予定

Table listing the schedule for the 2022-2023 fiscal year Headteachers Association activities, including dates and event names.

